

指定管理施設（ かさはら福祉センター ）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和6年度の実施状況		令和7年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R6 年度	R7 年度					
高 及 齢 者 、 健 康 相 談 に 関 する 福 祉 と 相	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・来所や電話により相談を受け、医療機関や相談機関につなぐ事及び適切なアドバイスを実施した。また、必要に応じて、関係機関(民生児童委員等)との調整を行った。 ・受付において気軽に声をかけるほか、掲示物を見ている方に声をかけて、日頃から相談しやすい雰囲気づくりに努め、来館者からの話も積極的に伺った。 ※健康管理や加齢に伴う持病についての相談は、医療講座にて医療従事者が対応した。(年11回)
		地域包括支援センター職員の協力のもと、介護や生活に関する相談に応じる。	-	随時	高齢者及び障がい者等からの健康相談や福祉相談を受け、必要に応じて自宅訪問を行う。			—	—	— (随時)	—	
		健康相談	-	年3回程度	身体状況の把握と管理			1 ※	33	1 ※	19	
		小計	0	—	—	—	—	0	33	0	19	
		計	0	—	—	13	13	0	33	0	19	
高 齢 者 の 教 養 講 座 等 の 実 施 に 関 する こ と	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・笠原地域福祉協議会、地域包括支援センター及び保健センター等との共催事業として実施し、一般来館利用者等に、窓口で参加等の働きかけをした。 ・笠原地域福祉協議会だよりにて事業の紹介をして啓発を行った。また、玄関正面に行事案内板を移すことにより、来館者へ各種講座のPRを行った。 ・ポッチャを実施したことで、参加者の障がい者への理解及び仲間づくりにつながり、戦略を考えることで認知症予防の効果もあり介護予防教室の一環も担っている。また、参加者からの評判が口コミで広がり、新たな利用者の参加を促すことで利用者数の増加につながった。 ・昨年度同様、人気の高い歌唱療法について、アンケート結果からも非常に多くの方から高い評価をいただいた。また、声を出すことで認知症予防の効果もあり介護予防教室の一環も含まれている。 ・歌唱療法に続きニーズが多い麻雀教室を新たに増設(中級コース)した。それにより、初級コースの新規利用者及び継続利用者の増加につながった。 ・パッチワーク講座は、参加者の減少に伴い8月より中止した。
		健康づくり「筋力アップ体操」	12	月1回	・高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、仲間づくり、生きがいづくりを助長する。			22	281	21	304	
		健康づくり「バランスボールを使った体操」	3	年3講座 (1講座: 10回)				30	398	30	368	
		健康づくり「リンパ・ドレナージュ」	24	月2回				23	252	23	241	
		健康づくり「3B体操」	24	月2回				20	204	24	260	
		健康づくりポッチャ	24	月2回				7	99	9	183	
		健康づくり歌唱療法	2	年2回				24	594	23	524	
		教養知識パッチワーク教室	24	月2回				24	95	6	20	
		教育知識健康麻雀(初心者)	48	月4日				37	381	48	580	
		教育知識健康麻雀(中級)	48	月4日				—	—	48	421	
		教養知識麻雀教室(上級)	48	月4日				51	1,244	47	978	

高齢者の教養講座等の実施に関すること	1	教養知識 スマートフォン教室	2	年2回	・高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、仲間づくり、生きがいづくりを助長する。			1	18	1	18	・ガーデニング講座は、講師の体調不良により令和7年度は実施していない。 ・介護予防の開催については、専門的知識を有するため、回数も減少傾向にあり今後の課題と捉えている。ただ、同施設内に地域包括支援センターの機能を有しているため、有効的に協力を得ながら行うことも検討している。
		教育知識 ガーデニング講座	4	年4回 (四半期ごと)				4	72	—	—	
		介護予防 家族介護教室	2	年1回以上				1	10	2	20	
		介護予防 認知症サポーター養成講座	2	年1回以上				1	35	1	22	
		介護予防 認知症予防講座	3	年3回				1	9	1	5	
		介護予防 介護予防教室	4	年4回				1	24	1	11	
		小計	274	—	—	—	—	247	3,716	285	3,955	
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・利用される方の健康維持増進へのニーズが非常に高く、脳神経科医師・消化器外科医師・循環器医師・心臓血管医師・理学療法士・管理栄養士等の専門職に依頼して、テーマを決めて講義を実施した。講義終了後に質疑応答の時間を設けて、健康の維持増進の知識向上や不安解消を行った。
		公開医療講座	12	月1回	医師、薬剤師、理学療法士等から、生活習慣病等の予防法やフレイル予防を習得する。			12	198	11	166	
		小計	12	—	—			12	198	11	166	
地域福祉増進のための講座等に関すること	1	計	286	—	—	14	14	259	3,914	296	4,121	—
		生きがい健康塾	11	月1回	同世代の利用者相互が、身近な地域を散策や健康に関する講話を聴く事により、引きこもり防止を図る。			31	523	36	816	・地域福祉協議会が主催する講座に、笠原地域包括支援センターと協力して実施した。 ・高齢者の引きこもり予防策として、さくらカフェなどを開催。 ・ヤクルト管理栄養士による健康教室の開催。 ・フレイル予防に配慮したモルックの実施。 ・認知症をテーマとした映画の上映会を実施したところ、123名もの参加があり、6年度と比較して大幅な利用者増に繋がった。
		小計	11	—	—	—	—	31	523	36	816	
		計	11	—	—	13	14	31	523	36	816	—

連携、地域福祉協力に辺り、関係する施設等と支援のセ	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・かさはら福祉まつりを校区内の福祉団体と協力をして、笠原交流センターで実施した。 ・障害者福祉センター及び笠原地域にある障がい者・児施設の事業を紹介した。また、障害者福祉センターが発刊している機関紙の配布も行った。 ・はだし工房、東濃自閉症センターかさはら、なごみの杜かさはらの作品展示事業を実施した。(随時)
		かさはら福祉まつり (地域社協主催)	1		校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			1	500	1	500	
		障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を紹介し、住民への周知と理解を促す。			—	—	— (随時)	—	
		小計	1	—	—	—	—	1	500	1	500	
		計	1	—	—	11	11	1	500	1	500	
福祉関係団体との連携、支援に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・作業室を利用希望団体に開放し、印刷・製本作業が自由に行える環境とし、地域住民の自主的な活動やボランティア活動の促進を図った。 ・印刷機等の使用方法の説明及び消耗品の補充、機械の点検を行った。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示に協力した。 ・※1多悠連笠原校区連合会総会へ4/7に施設長が出席し、情報収集を行った。その他、月2回以上情報共有を行った。 ・※2笠原地域民生児童委員協議会へ年1回参加し、5月に開催した多治見市内の民生児童委員の総会へ参加した。また、毎月参加している笠原地域包括支援センター職員から情報提供を受けて共有を図った。
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	—	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行う。			—	—	— (随時)	—	
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2		情報交換、協力、支援			1	35	1 ※1	35	
		民生児童委員協議会との連携	11	月1回				2 ※	20	2 ※2	20	
		小計	13	—	—	—	—	1	55	0	55	
		計	13	—	—	9	9	1	55	0	55	

